

# センリョウ立枯れ症の原因病害は疫病であり、簡易診断可能である

農業総合センター鹿島地帯特産指導所

## 【研究の概要】

センリョウはお正月の縁起物であり、安定した需要がある品目です。東京都中央卸売市場における茨城県産のシェアは48%（金額ベース）と全国第1位です（令和4年）。一方、近年、産地の一部では立枯れ症による生育不良が問題となっています。そこで、当所では、その原因を特定するとともに、現地や普及センターが実施できる簡易診断法について検討を行いました。その結果、立枯れ症の主要な原因は疫病であり、病徴観察と市販のイムノクロマトキット※を用いることで、迅速に診断・対処できることを明らかにしました。

※イムノクロマトキット……抗体抗原反応キットのことで、新型コロナウイルスの検査で使用したキットと同じ原理のキット。



正月飾りとしての利用例

## 【研究内容】

### ○ センリョウ立枯れ症の原因の特定

立枯れ症の原因を明らかにするため、現地圃場から採集した立枯れ症株に感染している病原菌の種類を調査しました。

### ○ センリョウ疫病の特徴と簡易診断方法

誰でも簡易に診断できる方法を確立するために、現地圃場における立枯れ症株の特徴や発生時期を明らかにするとともに、市販されている疫病菌用のイムノクロマトキットの有効性を検討しました。



生育不良の立枯れ症状（矢印が被害株）

## 【研究成果】

### ○ センリョウ立枯れ症の原因菌

調査した立枯れ症株の6割以上から疫病菌が分離されました（図1）。これにより、立枯れ症の主要な原因は「センリョウ疫病」であることが明らかとなりました。

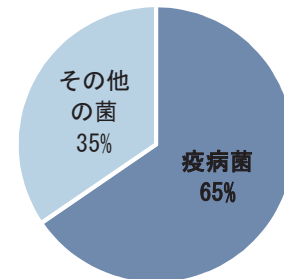


図1 センリョウ立枯れ症株に感染している病原菌の種類（調査株数 = 55株）

### ○ センリョウ疫病の特徴と簡易診断方法

センリョウ疫病の特徴は、「しおれる」こと、「株元（地際）や根が黒変する」ことで、3月頃から発生します。疫病の特徴を観察したうえで、株元部分からサンプルを採取し、疫病菌用の検査キットを使用することで、10分程度で疫病を判別することができます（図2）。

疫病菌は感染した株から周囲の株へ雨水で伝染していくため、本成果を活用した被害株の早期発見・抜き取りは、疫病被害のまん延防止につながります。



図2 センリョウ疫病の簡易診断  
疫病が疑われる株の株元の一部をキットで検査すると、10分ほどで陽性が判別できる。（矢印は陽性反応のバンド）

## 【将来の展望】

今後は、疫病菌の雨水による伝染防止と安定生産を両立できる雨よけ栽培の検討を行います。また、現在はセンリョウ疫病に対して登録のある農薬がないため、関係機関と連携しながら農薬の適用拡大に向けた試験を実施していく予定です。